

午後 試験

前年同様、多くの受験者が上級システムアドミニストレータの立場や役割を踏まえ解答しており、この点での受験者の理解は浸透してきた。約半数の受験者が問 1 を選択し、次いで問 3、問 2 の順で選択された。各問とも、受験者の経験に基づいた具体的な論述が多かった反面、設問で解答を求めている項目に対して、十分にポイントを押さえた解答となっていない論述も散見された。

問 1（経営環境の変化に対応した情報システムの見直しについて）では、業務プロセスの見直し、その背景となった経営環境の変化、及び業務プロセスの見直しに伴う情報システムの改定についての論述を期待したが、経営環境の変化と業務プロセスの見直しの関連性が十分に記述されていない論述や、情報システムの見直しを伴わない業務効率向上のための業務改善の論述が多かった。

問 2（コスト低減のためのデータ活用について）では、データ活用分析とコスト低減策のポイントを押さえた論述が多く、業務経験のある受験者にとっては比較的取り組みやすい問題であったと思われる。一方、単なる業務改善やシステム導入の評価に関する論述も見られたが、コスト低減を目的にしたデータ活用とコスト低減策を、経験に基づいて具体的に論述してほしかった。

問 3（トラブル対策に関する情報システム構築段階からの取り組みについて）では、利用部門としてのトラブル対策の経験に基づいた、具体的な取り組み内容と工夫に加えて、適切な評価や課題を記述していた論述が多かった。利用部門の立場からの取り組みの論述を期待したが、システム部門の立場としてシステム面での対策が中心となった論述も見られた。